

## 「2016 文化で滋賀を元気に！賞」受賞者について

文化・経済フォーラム滋賀では、文化で滋賀を明るく元気にし、活力あふれる地域社会の実現に貢献している団体または個人に対して、感謝と今後の活動を期待して、2011 年から「文化で滋賀を元気に！賞」を設け、表彰しています。

6 回目となる「2016 文化で滋賀を元気に！賞」には、県下各地の地域を元気にする活動をされている団体・個人から、30 件の推薦応募をいただきました。

選考委員会による慎重審査の結果、大賞をはじめ6件(6団体)が受賞されました。

(講評執筆：「2016 文化で滋賀を元気に！賞」選考委員会)

## 【表彰概要】

## ■表彰の種類

(1) 文化で滋賀を元気に！各賞

文化で滋賀を明るく元気にし、活力あふれる地域社会の実現に貢献している団体または個人(若干名)

(2) 文化で滋賀を元気に！大賞

(1)の受賞候補者のうち最も評価された団体または個人(1名)

(3) 各賞の名称は、推薦者からの提案に基づき決定

## ■表彰式

平成 29 年 2 月 12 日(日)15:10～ びわ湖大津プリンスホテル プリンズホール

※受賞者には表彰状と記念品(日本画家・西久松吉雄氏(成安造形大学教授、同大学附属近江学研究所 所長)の絵画作品)を贈呈します。

## ■募集期間

平成 28 年 7 月 1 日(金)～平成 28 年 10 月 31 日(月)

## ■候補者の推薦

募集期間内に推薦書を文化・経済フォーラム滋賀事務局に提出。自薦、他薦は問わない。

## ■選考

12 月 8 日(木) 6名の委員からなる選考委員会で審査を行い、大賞・各賞を決定。

選考委員	なかむら 中村 順一 (行政経験者)	あきむら ひろし 秋村 洋 ((株)プラネットリビング代表取締役)
	はらだ みつき 原田 光毅 ((公財)平和堂財団顧問)	みなみ ちせこ 南 千勢子 (ピアニスト)
	やまなか たかし 山中 隆 ((公財)びわ湖ホール理事長)	あいば たかこ 饗場 貴子 (元・大津青年会議所理事長)

## 大賞(街中[まちなか]まるごとアート文化賞)



ライブペインティング



開催風景

## 長浜芸術版楽市楽座運営委員会 / 長浜市

長浜市の中心商店街で、毎年 10 月初旬の 2 日間「長浜芸術版楽市楽座 ART IN NAGAHAMA(通称AINアイン)」を開催。全国から 200 人以上の芸術家が集まり、作品の展示・販売・実演を行う。2016 年で 30 回を迎え、作家や市民・観光客らがアートを接点とした自由なコミュニケーションを楽しんでいる。「長浜の街を元気にしたい」と始めた市民の手作りイベントから、日頃から芸術・文化に触れてもらおうと、ギャラリーの開設やAIN作家の活動支援・ワークショップの実施など通年の活動を行う NPO 法人を立ち上げ、商店街のアートへの理解と協力を基盤に、芸術を通じたまちづくりへと、活動を拡大し続ける継続性と地域への波及力は大いに評価される。

<会長:笹原司>

問合せ 特定非営利活動法人ギャラリーシティ楽座 (電話 0749-65-0393)

## プロフィール

- 1987 年 「長浜芸術版楽市楽座(アートインナガハマ[AIN])」を豊公園にて開催以降、第 6 回まで同会場にて実施
- 1990 年 有限会社ギャラリー楽座設立年間を通じた取り組みに
- 1993 年 第 7 回を市街地を会場に変更以降、市街地開催が定着
- 2002 年 (有)ギャラリー楽座を NPO 法人ギャラリーシティ楽座に
- 2016 年 第 30 回 AIN を実施



彦根の楽しさ発掘文化賞

**特定非営利活動法人ひこね文化デザインフォーラム / 彦根市**

彦根市の文化環境の向上をめざし、市民の文化創造活動の支援機関として2008年9月に設立。2009～2014年はひこね市文化プラザの指定管理者として市民文化団体を支援。現在は、コンサートや歴史セミナーの開催、古民家を活用した宿泊施設の運営など幅広い活動を展開し、文化団体・行政や市民とともに、彦根の文化資産を再発掘・再発信し、地域の文化力を支える活力は評価される。

<理事長: 西村文明>

問合せ 事務局 (電話 0749-23-3383)



寄席で笑って元気に文化賞

**笑ってもっと元気をだそう会 (通称 わらげん会) / 大津市**

2008年「県庁周辺に元気を取り戻そう」と、笑いから知恵を引き出し、元気を創出することを目的に市民が集まり、落語寄席を定期的に行っている。これまでの開催32回はほぼ満員御礼。地域の商店による賑わい出店とともに、多くのファンをもつイベントへと発展し、笑いをテーマに地域の活性化やコミュニティーの再生につなげている取り組みは評価される。

<代表: 笠 文彦>

問合せ 事務局 (電話 077-522-8811)



おひなさまで町おこし文化賞

**日野ひなまつり紀行実行委員会 / 日野町**

全国でも珍しい、祭りを見物するための「棧敷窓」がある町並みに、200箇所以上のおひなさまを約1月間展示。住民による自主活動・町おこし活動との思いから実行委員会による運営を行い、多くの個人宅の協力を得て、軒先などに手作り看板等が設置されている。秋の「棧敷窓アート」とともに地域全体を巻き込んだイベントとして、地域文化の再認識、町並保存、観光振興へと発展する取り組みは評価される。

<世話人: 中田 穰>

問合せ 事務局 (電話 0748-52-0649)



絶滅危惧種ハリヨを残そう文化賞

**旭化成株式会社守山製造所 / 守山市**

滋賀県と岐阜県だけに生息が確認されている絶滅危惧種ハリヨの保全・育成のため、製造所内に保全池をつくり、2016年に稚魚19匹を放す。これまでも工場の放流水の水質管理による水の保全活動に注力しており、地域の自治会や琵琶湖博物館の協力のもと、地域の自然環境と生物多様性の保全にも取り組んでいく企業の姿勢は評価される。

<製造所長: 榎園博文>

問合せ 守山総務部 (電話 077-581-4001)



能楽を近江に伝える文化賞

**滋賀能楽文化を育てる会 / 東近江市**

2005年に設立以来、県内各地にて継続的に能楽発表、能面展示を行っている。公演では、曲目や囃子の解説、着付けの実演、装束や背景に「近江の麻」を使用、奥永源寺に伝わる能面文化財を展示するなど、老若にわたり能楽に興味を抱いてもらえるような試みも。地域文化の活用を心掛け、特に、中学生への公演招待など、次代を担う青少年に向けた地道な活動は評価される。

<会長: 出路敏秀>

問合せ 事務局 (電話 090-8885-2674)